



2025年度

石川県勤労者山岳連盟

第60回定期総会議案書

目指す頂きへ、仲間と共に！



期日: 2025年3月2日(日)13時30分～16時00分

会場: 野々市市 ののいちカミーノ 1階視聴覚室

〒921-8815

野々市市本町二丁目1番20号

石川県勤労者山岳連盟(IWAF)

〒921-8817 石川県野々市市横宮町8-5 つばき通り百番ビル206号室

アドレス info@iwaf.jp

<http://iwaf.jp>

第 60 回定期総会議事次第

13:00 受付開始

13:30 開会(理事長)・資格審査報告(組織活動担当理事)

議長選出

会長挨拶

来賓挨拶・メッセージ紹介

13:45 議事

第 1 号議案 2024 年度活動報告承認の件(提案…会長・副会長・理事長・各担当者)

第 2 号議案 2024 年度収支決算報告承認の件(提案…財政・庶務担当)

監査報告(報告…監事)

第 3 号議案 2025 年度活動方針決定の件(提案…会長・副会長・理事長・各担当者)

第 4 号議案 2025 年度予算案決定の件(提案…財政・庶務担当)

14:30 休憩(10 分)

14:40 第 1～4 号議案、質疑応答・討議

(第 1～4 号議案 採決)

15:25 第 5 号議案 2025 年度役員選出の件(提案…理事長)

(第 5 号議案 採決)

15:45 退任役員挨拶(この間に第 1 回理事会開催)

新任役員挨拶・紹介

議長退任

16:00 閉会

※ 総会代議員数…石川県勤労者山岳連盟規約第7条に基づき、各会の構成人員5名につき1名(端数切捨て)を選出。なお、代議員数の過半数未満において委任が可能。

会名	会員数(2023.11 月末)	代議員数	委任可能数
チャムラン山の会	30	6	3
めっこ山岳会	24	4	2
でんでん虫クラブ	9	1	0
白山フウロ山岳会	14	2	1
小松ブルーバル山の会	79	15	7
金沢ハイキングクラブ	96	19	9
合計	252	47	22

第1号議案 2024年度活動報告

1. はじめに

今年2024年元日能登半島を震源とする地震が発生し、また、9月には豪雨災害に見舞われました。

石川県勤労者山岳連盟の会員の方々も被災に遭われ、大変ご苦勞なされお見舞い申し上げます。そんな状況の中で、いち早く全国連盟の皆さんが地方連盟へ支援の呼び掛けをして頂きました。その義援金は、県連の役員、各会会長の皆さんと協議をし、被災された会員の方々に支援させて頂きました。

支援された皆様にお礼を申し上げます。

県連活動では

1) 事故対処講習会

応急処置の対処でどんな装備が必要なのか山岳ファストエイドの勉強会を行いました。

2) チブリ尾根登山道整備

チブリの仲間、一般の方々と共に登山道整備を行ないました。

3) ステップアップ講習会

立山登山研修所の改修工事の為キゴ山周辺で、気象、読図の学習会を行ないました。

4) 労山祭り

キゴ山ふれあい研修センターにて、会の特徴を活かした内容で、開催されました。

5) 会間交流登山

各会の特徴ある山行を企画しましたが、天候不順で1回のみが実施されました。

6) クリーンハイク

各会独自の山で、実施しました。

7) 県連理事会はオンライン (ZOOM) 開催が定着となりました。

以上県連活動の報告をお知らせしました。

結びに、能登復興支援に向けて、ボランティア活動に参加された会員の皆さんに感謝すると共に、今後ともご協力をお願いし、お礼を申し上げます。

2. 県連活動全体まとめ

I. 会員数

全体の会員数(24年11月末)は252名で、昨年度から15名減となりました。入会数は全体で7名、退会者は全体で22名おり、退会理由には山岳会活動の役員担当や団体行事の煩雑さを挙げる方も多く、今後の山岳団体運営の課題と言えます。

II. 事故

2024年4月～12月の期間中、石川労山内で発生した事故(2022年度より運用の県連事故報告書フォームでの報告)は、2件でした。クライミングや沢登り、山スキーといった高リスクの山行ではなく、一般登山道での事故でした。

事故報告での周知を通じての注意喚起を各会へ伝達しました。

<資料1>

石川県連事故一報 一覧(2024年4月～12月)

事故発生 日時	性別 年齢	都道府県 山名 山行形態	事故 原因	事故状況	傷病名
11月19日	女性 61歳	経ヶ岳山 頂付近	転倒	総勢7人(男性2名 女性5名) ・下山開始後、5分位歩いた地点のぬかるみに滑り転倒。その際に手をつき骨折した ・注意不足 ・事故再発防止としてポールの使用	骨折
11月6日	女性 30歳代	南アルプス 甲斐駒ヶ岳		黒戸尾根尾白川溪谷 登山口より入山。頂上からの下山中、九合目から八合目の間の岩場にて、岩に手を伸ばした所、右肩を脱臼、右腕が動かせなくなった。自力で肩を治す事が出来ず、自力での下山は不可能と判断し、110番通報し救助要請した。ヘリコプターにて病院に搬送。10分足らずでヘリが到着した。腕を伸ばして掴もうとした岩が、自身が思っていたより遠く、肩に無理が掛かってしまった	右肩関節唇損傷

Ⅲ. 全国連盟と石川県連

全国連盟からの連絡メールは各会理事を通じて会員に配信しました。2024年2月15日(木)に開催された日本勤労者山岳連盟総会に、坂田会長と浅瀬副会長が県連代表として参加し、能登半島地震被害義援金への御礼を伝えました。

Ⅳ. 県連4役持ち回り制

こだま山岳会の脱退により再編成したAブロック、Bブロック、Cブロックによる役員選出を継続しました。このルールは、会員個人への過分の負担が軽減される事が期待されており、また実際にその効果が出ております。引き続き、各会のご理解とご協力をお願い致します。なお、『県連4役(会長、副会長、理事長、副理事長)の持ち回り制』は、巻末に掲載いたします。

3. 理事会・事務局活動報告

I. 理事会

毎月第2水曜日(8月と2月は第1水曜日)19:30 から開始する理事会は全て実施、各会とも参加者9名以上(理事数15名)で成立しました。新型コロナウイルスは5類へ移行しましたが、遠方理事の負担軽減のためオンライン(Zoom)を併用しています。

理事15名、理事会の平均出席者数は12名(出席率80%)、そのうちオンライン参加平均は8名(66.7%)で、オンライン併用の理事会が定着しています。80%の高参加率で、各会の積極的な協力を得られています。

Ⅱ. 事務局

(1) 県連ニュースについて

県連ニュースは、理事会の審議内容や決定事項、行事日程を中心に発行しました。

(2) 県連事務所について

プロジェクターとスクリーンは、理事会や各会の例会で活用しています。

事務所設備に不具合があった場合は、早期に対応しますので気づいた際に事務局へ連絡下さい。

4. 組織統括部活動報告

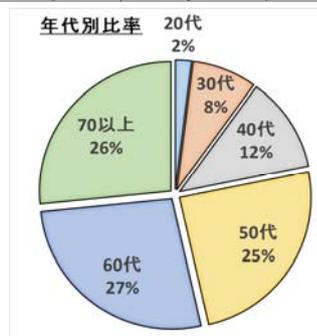
組織統括部は、石川県連の組織運営に関する専門部としての役割を担っています。活動内容は、広報活動・県連内外の交流活動・自然保護活動・県連会員数の集計、を行っています。

I. 組織活動関連

(1) 各会の会員数(2024年11月末時)

山岳会	2023年 11月	2024年 11月	増減内訳			2024年11月末 会員数の年代別内訳						男女内訳	
			増減	入会	退会	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	男性	女性
でんでん虫倶楽部	9	9	0	0	0	0	0	0	0	5	4	8	1
小松ブルーベル山の会	79	79	0	5	5	2	12	8	18	17	22	47	32
金沢ハイキングクラブ	103	96	-7	0	7	2	3	9	23	31	28	40	56
チャムラン山の会	35	30	-5	1	6	0	3	8	6	5	8	18	12
めっこ山岳会	25	24	-1	1	2	1	1	3	11	3	5	20	4
白山フウロ山岳会	16	14	-2	0	2	0	1	2	4	7	0	7	7
合計	267	252	-15	7	22	5	20	30	62	68	67	140	112

前年から会員数が減となっており、また会員の高齢化も進んでいる事が分かります。全国の山岳会でも同様に会員数減と高齢化が課題と言われており、石川県連も同じ傾向にあるといえます。しかし、全国の山岳会を見ると、会員数を増やしている会もあって、そのような会は活発な会活動と地道な勧誘活動によって成果を出しています。石川県連の中では、小松ブルーベル山の会と金沢ハイキングクラブが、成果を出している会だと言えます。



山岳会	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	過去最多		
												会員数	年度	比較(%)
でんでん虫倶楽部	13	12	9	10	10	9	9	8	8	9	9	21	1999年	43%
こだま山岳会	43	46	41	11	7	7	7	脱退				47	2013年	0%
小松ブルーベル山の会	46	49	49	45	47	51	52	61	74	79	79	79	2023年	100%
金沢ハイキングクラブ	99	87	90	100	105	110	99	102	105	103	96	136	1999年	71%
チャムラン山の会	48	49	46	45	44	45	44	42	36	35	30	55	1997年	55%
めっこ山岳会	32	31	29	30	36	34	33	28	24	25	24	47	1998年	51%
白山フウロ山岳会	21	21	28	28	26	18	15	14	16	16	14	28	2017年	50%
合計	302	295	292	269	275	274	259	255	263	267	252	332	2000年	76%



(2) 労山まつり

主幹:チャムラン山の会
日時:2024年9月29日
場所:キゴ山ふれあい研修センター
参加者:21名
金沢ハイキングクラブ 4名
でんでん虫倶楽部 2名
小松ブルーベル山の会 3名
めっこ山岳会 2名
白山フウロ山岳会 なし
チャムラン山の会 10名



9月29日にキゴ山ふれあい研修センターにて労山まつりを実施しました。内容について例年通りの1泊キャンプ案もありましたが、趣向を変えて日中に行う労山祭りはどうだろうと検討して今回の様になりました。8月末の日中ならまだ暑いからと、日程も9月末にしました。

まずチャムラン金谷さんの山岳写真ギャラリートーク。

次に北部白山管理人の永田泰山さんによる北極圏ラップランド1000km踏破の話を中心としたトークショーにギター演奏と歌。

その後はチャムラン久能さんの野外ヨガ体験。そしてお昼に参加者に無料でフルーツポンチが振る舞われました。



(3) 北信越ブロック協議会

① 北陸地区登山技術研修会

2024年度の実施はありませんでした。

② 北信越交流登山

2024年度の実施はありませんでした。

③ 第27回北陸地方雪崩講習会(主管 石川 共催 富山、新潟、福井)

※委員会活動報告を参照

Ⅱ. 会間交流

主管会	実施日	目的	山域	実施
チャムラン山の会	4月21日(日)	登山道整備	高倉山	中止
白山フウロ山岳会	6月2日(日)	写真山行	白山釈迦岳	中止
めっこ山岳会	6月23日(日)	沢登り初級	富士写ヶ岳	中止
でんでん虫倶楽部	10月6日(日)	交流登山	牛岳	実施
小松ブルーベル山の会	11月17日(日)	交流登山	日野山	中止
金沢ハイキングクラブ	11月30日(土)	交流登山	蓮如山・高落場山	中止

本年の会館交流登山は、天候に恵まれずほとんどの会間交流山行が中止となってしまいました。

でんでん虫倶楽部主催 会間交流登山／牛岳



実施日:2024年10月6日

参加会:

- ハイキングクラブ 1名
- チャムラン山の会 1名
- 白山フウロ山岳会 2名
- 小松ブルーベル山の会 4名
- でんでん虫倶楽部 4名

行程:8:00 砺波集合-車移動-8:45 登山口・開始-10:50 牛岳頂上-11:00 牛岳-11:05 休憩所・昼食 12:30-下山-14:00 登山口(登山終了)、この後牛岳温泉センターへ

コースは広域幹線林道牛岳線を進み、約2Kmぐらい進んだところで「牛岳」コースの標識がある。

この地点で標高400m牛岳頂上は975m、「頂上まで2.9KM」の標識も立てられており、これからの歩き距離がわかりたいの行程が想像できる。それに従って尾根道を登り始める。

昼食はでんでん虫倶楽部で用意した豚汁パックとドリップコーヒーを提供。お湯を沸かし各自注ぎ食して頂いた。好評でした。

Ⅲ. 自然保護活動関連

(1) クリーンハイク活動

実施会	実施日	山域	参加人数	ゴミ量	実施
金沢ハイキングクラブ	5月26日(日)	医王山	27(2班)	4.3kg	実施
めっこ山岳会	6月23日(日)	富士写ヶ岳			中止
金沢ハイキングクラブ	9月8日(日)	白山	27(2班)	1.125 kg	実施
白山フウロ山岳会	10月19日(土)	三方岩岳			中止
でんでん虫倶楽部	10月20日(日)	順応山	3	0.0kg	実施
チャムラン山の会	10月27日(日)	岩屋俣谷園地	10	0.4Kg	実施
小松ブルーベル山の会	10月27日(日)	鞍掛山	28	0.972kg	実施

クリーンハイク活動の感想など

金沢ハイキングクラブ: 白山はきれいな山なので量としては少なかった。小雨もあったが無事下山した。今後もゴミの少ない自然豊かな山であってほしい。

チャムラン山の会: ピンクテープの残骸が目立つ(地面に落ちている)ペットボトル(2本)の大物もあり全体的にはとてもキレイな山道でした。

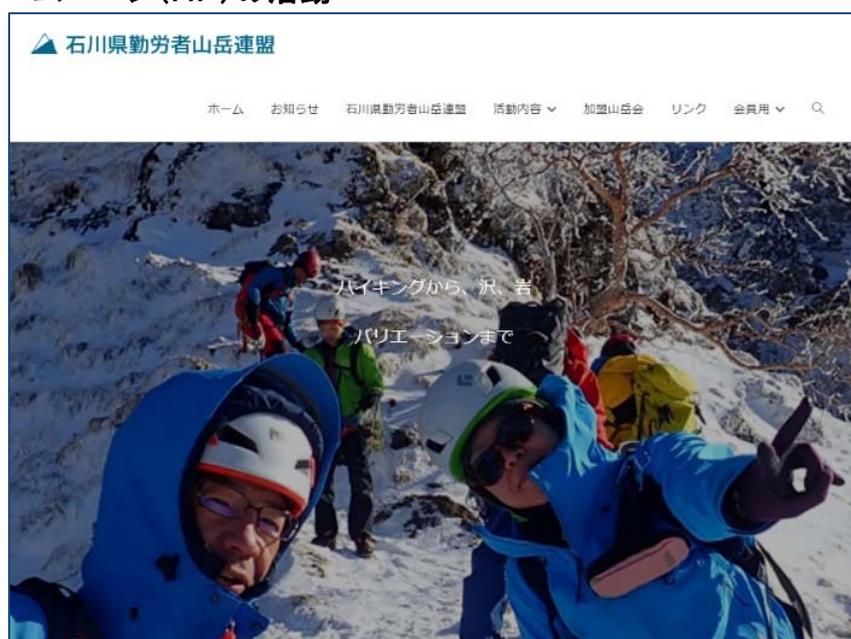
小松ブルーベル山の会: 小松市加賀市の合同団体「鞍掛山を愛する会」からの依頼があり、鞍掛山の頂上小屋の付近に赤松3本紅葉1本こなら1本計5本の苗木を植樹。ブルーベル55周年記念植樹として標柱も建てた。

参加者全員が力を合わせ苗木や標柱・道具を運搬、植樹を実施して喜びが一段UPした。

登山者のマナーが向上しており、山岳地域におけるゴミを見る事は減少しています(昔のクリーンハイクでは、白山の砂防新道でコンビニ弁当の空き箱を回収した事もありました)。ゴミの持ち帰り文化が広まり、山域の美観と環境は向上しています。

Ⅳ. 企画・広報活動報告

(1) 県連ホームページ(HP)の活動



<https://iwaf.jp/>

石川県連のHPの更新を、15件掲載しました。
更新の内訳は、次の通りです。

2024年3月	・救助隊「ベルクバハト」で積雪期救助訓練を行いました ・被災地で活動してきました
2024年4月	・【会間交流山行】チャムラン主管高倉山のお知らせ
2025年5月	・登山時報に掲載されました
2025年6月	・【会間交流】白山フウロ主管／白山釈迦岳のお知らせ ・2024 会員募集フライヤー ・【会間交流】めっこ主管／沢登りのお知らせ ・【報告】クリーン登山医王山@金沢ハイキングクラブ ・【報告】山岳ファーストエイド勉強会
2024年8月	・『9/7(土)ステップアップ講習会 2024』のご案内・参加者募集！
2024年9月	・【報告】能登半島地震ボランティア(志賀町) ・【報告】ステップアップ講習会 2024 ・【報告】能登豪雨災害ボランティア
2024年10月	・【報告】2024年度 労山祭り ・【報告】会間交流登山／牛岳

県連で主催する行事はもちろん、会間交流登山やクリーンハイクなど各会主管で行われる山行を、どしどし石川県連のHPに掲載していきたいと思っております。
石川県連のHPを通じて入会のお問い合わせも本年1件いただきました。

(2) 広報活動

1. 県連チラシ(募集チラシ)

県連チラシは、6月に作成し、例年同様、登山用品店、スポーツ用品店を中心にチラシを配布しました。県連チラシは、「石川県勤労者山岳連盟を知ってもらう」ための入口の一つになると

考えています。
入口(県連チラシ、県連HP、Youtube、勧誘、口コミ、など)はなるべく多い方がいいですね。



※チラシ配布先と担当会

配布先		配布枚数	担当会
スポーツゼビオ	松任店	30	チャムラン山の会
スポーツゼビオ	金沢ベイ店	30	金沢ハイキングクラブ
スポーツデポ	金沢鞍月店	30	金沢ハイキングクラブ
スポーツデポ	金沢大桑店	30	白山フウロ山岳会
アルペン	小松沖町店	30	小松ブルーベル山の会
KC ウォール		30	めっこ山岳会
V10 野々市		30	チャムラン山の会
好日山荘	金沢西インター大通り店	60	でんでん虫倶楽部
好日山荘	金沢エムザ店		
モルゲンロート	(旧オクトス)	40	小松ブルーベル山の会
オンザロック		20	白山フウロ山岳会
小松ダイナミック		30	小松ブルーベル山の会
ステップ		30	小松ブルーベル山の会
スポーツゼビオ	イオンモール白山店	30	チャムラン山の会
チブリ避難小屋			
他		10×5カ所	小松ブルーベル山の会
配布総枚数		490	

※白山ビジターセンター、南竜山荘、モンベル金沢店は置いてもらえず。

2. 石川県連紹介動画

各会の山行写真やショート動画を編集し、石川県連の活動動画を作成。



石川県連のHP、もしくはYoutube から閲覧が可能です。

<https://www.youtube.com/watch?v=dMM4RX710io&t=177s>

V.その他

(1)久弥祭への参加

第28回久弥祭

日時: 2024年4月28日(日)8時~

場所: 九谷ダム広場(加賀市山中温泉枯淵町 富士写ヶ岳登山口)

参加者: 久弥祭実行委員会に坂田会長が出席。

小松ブルーベル他から多数が参加。

第28回

久弥祭






深田久弥 (1903年~1971年)
石川県大聖寺町(現加賀市)生まれ
山の文学者、小説家、俳人、ヒマラヤ・シルク
ロード研究者。著書には『日本百名山』や
『ヒマラヤの高峰』など多数

深田久弥の原点の山《富士写ヶ岳》に集みましょう

日時 : **令和6年4月28日(日)午前8時より**

場所 : 富士写ヶ岳・九谷ダム広場 石川県加賀市山中温泉枯淵町

式典 : 献酒・献花・献句・著作朗読等

備考 : 小雨決行

但し荒天時の開催は前日の午後4時以降に
山の文化館まで電話又はホームページにてご確認ください。
※式典後の富士写ヶ岳登山は自己責任をお願いします。
※深田久弥ゆかりの地散策を行います。
参加ご希望の方は10:00までに
「深田久弥 山の文化館」にお越しください。

連絡先 : 深田久弥 山の文化館
石川県加賀市大聖寺番場町18-2
TEL 0761-72-3313
<https://yamanobunkakan.com>





富士写ヶ岳のシヤクナガ



深田久弥終焉の山 写ヶ岳

主催: 久弥祭実行委員会
山中山岳会・石川県勤労者山岳連盟・加賀山岳会
公益社団法人日本山岳会石川支部
NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会

後援: 加賀市

5. 教育遭対統括部活動報告

I. 教育遭対活動関連

(1) 第15回 ステップアップ講習会 気象と読図

【日時】：2024年9月7日(土)

【場所】：キゴ山ふれあい研修センター 青少年交流棟 第一研修室
キゴ山周辺

【計画概要】：気象・読図の机上講習、キゴ山周辺での読図実地講習

講師	1名	安藤	
スタッフ	3名	喜多、河崎、高原	
参加者	18名	一般	1名
(男性)	9名	チャムラン	4名
(女性)	9名	金沢ハイキング	7名
		小松ブルーベル	4名
		白山フウロ	2名

<講習内容・スケジュール>

時間	項目	内容	場所
9:00~9:15	受付		研修室
9:30~10:40	気象	天気図の見方、観天望気	研修室
10:50~12:00	読図・GPS	地図の見方・ナビゲーション	研修室
12:00~12:45	昼食	各自持参	ロビー
12:45~15:00	読図2	野外での講習 コンパスを使ったナビゲーション	キゴ山 周辺
15:00	閉会		

反省・感想：

本年度は、例年クライミング講習を行っていたが会場の立山国立登山研修所が改修のため使用できず、講習内容を気象と読図の机上講習と読図の実地講習に変更して実施。

会場もキゴ山ふれあい研修センターにて開催。

午前中は気象と読図の机上講習。気象は天気図の見方、雲のでき方、観天望気について。読図は道迷いについて、地図+コンパスとGPSのメリット・デメリット、地図の基本、ナビゲーション(地図+コンパスとGPSを比較)、コンパスを使ったナビゲーション。

午後からはキゴ山周辺を歩きつつ、コンパスを使った方向確認や地形を見ての現在地把握を何回もこなし。山頂展望台ではコンパスを使った山の同定方法を講習した。

下山は、コンパスと高度計・地形・目標物などの情報を駆使して、下山ルートを図に書き込んで貰う講習を行った。後日 GPS データを送って比較してもらいどこまで合うのか確認して貰うような講習もしてみた。

今回、例年と違う講習内容でしたが、登山をする上では覚えておいてほしい内容を講習しました。今後の一助になれば良いと思います。

ステップアップ講習会の様子 (<https://iwaf.jp/category/training/step/>)



(2) 北陸地区登山技術研修会

本年度は開催されませんでした。

(3) 事故対処講習会

- ◆日 時 : 2024年6月9日(日)
- ◆開催場所 : 松任グリーンパーク 水と緑の広場
- ◆参加者 : 隊員 23名、一般 9名

【実施内容】 無雪期救助訓練の項を参照

II. 救助隊活動関連

(1) 事務局および救助隊組織

各会へ救助隊選任の要請を行い、総勢40名（1次隊 4名、2次隊 36名）で編成しました。

今年度も救助隊への救助要請はありません。

(2) 救助訓練

①無雪期救助訓練

- ◆日 時 : 2024年6月9日(日)
- ◆開催場所 : 松任グリーンパーク 水と緑の広場
- ◆主管会 : 小松ブルーベル山の会
- ◆参加者 : ベルクバハト救助隊隊員23名、一般9名

【内容・感想】

第一部

仲間が滑落し動かない、登山道に血を流して倒れている人がいる。

そうした場合仲間を助けるためにどう行動すべきか、対応方法について一緒に勉強したいと思います。

山岳医療講習で学んだ内容をご紹介します

第二部

夏山、雪山、日帰り、泊まりのそれぞれにおけるエマージェンシー装備について意見交換しました。



②積雪期救助訓練(予定)

- ◆日 時 : 2025年 月 日()
- ◆場 所 : 未定
- ◆内 容 : 未定

6. 委員会活動報告

専門部以外の自由な山岳活動として下記の委員会活動を実施しました。専門部とは別目線の知識・技術の向上、学習の場を提供しました。

I. 北陸雪崩

第27回 北陸雪崩講習会

積雪期登山や山スキー、スノーボードでの、雪崩事故リスク低減のため、必要な知識取得と技術向上を目的とした、机上と実技の講習を実施した。

主催：日本勤労者山岳連盟

主管：石川県勤労者山岳連盟

共催：福井、富山、新潟勤労者山岳連盟

◆日時・会場：

机上講習： 2024年12月 8日(日) 石川県/松任総合運動公園研修棟

実技講習： 2025年1月25日(土)～1月26日(日)

石川県/一里野スキー場。谷峠、中宮、瀬名周辺

◆講師。スタッフ・参加者

特別講師	2名	飯田先生、島田先生
講師・講師養成	16名	朴木、高原、安藤、田中、浅瀬、南、宅本、織田、高富山県連5名、福井県連2名
スタッフ	2名	板垣、和多田
S&Rボランティアスタッフ	3名	武藤、宮西、酒下
参加者	27名	男性 18名、女性 9名
基礎コース	15名	一般(8名)、小松ブルーベル(5名)、長野労山(2名)
登山コース	2名	小松ブルーベル(1名)、チャムラン(1名)
BCコース	8名	一般(2名)、小松ブルーベル(5名)、富山労山(1名)
S&Rコース	2名	チャムラン(1名)、福井労山(1名)



●机上講習会

2024.12/8(日)

石川県白山市

松任総合運動公園研修棟

■受付期間 2024.11/1～11/30

募集コース、参加費など詳細はQRコードリンク先「北陸地方雪崩講習会」SNSサイトにてご確認ください

●実技講習会

2025.1/25.26(土日)

石川県白山市

吉野谷セミナーハウスおよびその周辺



雪山の魅力と安全を学び、
一歩先のバックカントリーへ!

◆反省・感想：

今年度は、Facebook・Instagram を使った募集でした。そのおかげか、SNS をきっかけに応募された一般の方が多かったように思います。

【机上講習】

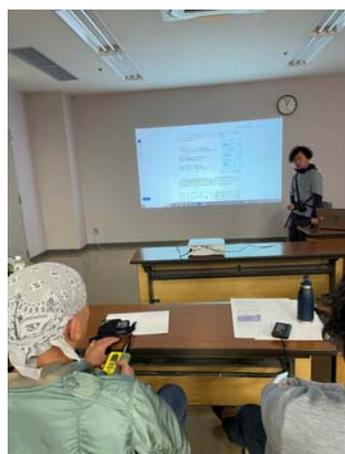
北陸雪崩講習会の机上講習を行いました。

午前には、特別講師に島田先生をお迎えして『地形・気象・植生・雪質について』の講義。

午後は、各コースに分かれて、実技講習に必要な内容を学びました。

基礎コースではYouTubeなどの動画を使い、分かりやすかったかと思います。

当日は天気が悪く、外での講義が危ぶまれましたが、天気の合間を見て野外講習も出来ました。なので動画と実際の雪崩ビーコンの動きを確認出来て理解がより深まったかと思います。

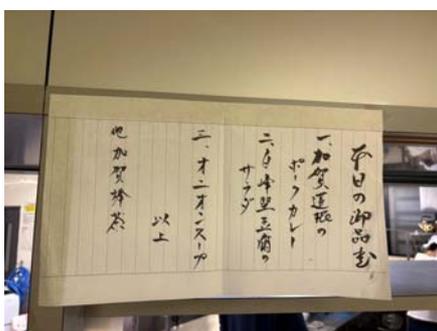


【実技講習】

今年も、二日間とも天気に恵まれ、吉野谷セミナーハウスをベースに基礎コースは谷峠、中宮周辺。BC コースは、一里野スキー場。S&R コースは瀬女スキー場跡と各所で講習を行いました。各コースや目的に合わせて場所を選択できるので、有意義な講習だったと思います。

もっとも直近は気温が高く、雪質的には恵まれませんでしたが、谷峠では3mほどの雪があり、講習するには十分は雪量でした。

また今回、吉野谷の方々のご協力で食事を提供していただいたり、スキー場などでも便宜を図っていただいたり、ありがたい限りでした。



Ⅱ. チブリの仲間

「チブリの仲間」では、「登山道整備」「外来植物対策」「一般啓蒙」を、県連所属山岳会6団体会員による「フットワークとネットワーク」を発揮して下記の通り実施しました。統括スタッフとして委員長・北市(チャムラン山の会)、副委員長・太田(一般有志)を中心に実施、作業レベル向上のため、資格(刈り払い機とチェーンソーの安全講習)取得を進め、実地での勉強会も実施しました。

【今年度の主要メンバ】

委員長	北市 正(チャムラン山の会・県連理事長)
副委員長	太田 明雄(一般)

【資格取得者】

刈り払い機安全教育	武藤 清秀(金沢ハイキングクラブ) 板垣 亜由(めっこ山岳会)
チェーンソー	北村 正作(でんでん虫倶楽部) 北市 正(チャムラン山の会)

【2024年度活動内容】

実施回数:計 20 回

延べ参加者:76名(チブリの仲間 29名、労山会員 42名、一般 5名)

実施日	参加人数	内訳								作業内容		
		チブリの仲間	チャムラン	めっこ	ハイキング	ブルーベル	でんでん	フウロ	一般	登山道整備	避難小屋管理	外来対策
5月2日	3	1		1				1		●	●	
5月11日	1	1								●		
5月18日	11	2			2			7		●	●	
5月25日	3	1							2	●		
6月1日	2	2								●		
6月8日	3	2				1						●
6月15日	13	2	6					3	2	●	●	
6月22日	1	1										●
6月29日	11	1				10				●		
7月20日	4	2		2						●		
7月21日	1	1										●
8月8日	1	1								●		
8月10日	2	2								●		
8月14日	1	1								●		●
8月24日	10	2			8						●	
9月7日	3	2							1	●	●	●
10月20日	2	2									●	
10月26日	2	2								●		●
10月31日	1	1										●
11月21日	1			1							●	
合計	76	29	6	4	10	11	3	8	5	13	7	7

【会計】

・収入(見込み):638,573円

・支出(教育訓練費):86,000円

(保険代):43,935円

(消耗品等):114,535円

(経費精算):177,900円

・残金:216,203円

※残金は各会へ 36,034円均等割(25年度収入分に計上)

7. その他.令和 6 年能登半島地震への対応

2024 年 1 月 1 日に県内で発生した令和6年能登半島地震について、下記の通り対応しました。

I. 義援金と被災会員へのお見舞金(会計より報告)

石川県連では 3 月の総会にて、被災会員への支援金を募集しました。また、全国連や都道府県連単位で義援金の申し出がありました。また 9 月に発生した豪雨災害後にも、追加の義援金があり、25 年 1 月末時点で総額 4,729,433 円を頂いております。このうち、延べ14名の会員へ被災程度に応じて総額 3,850,000 円をお見舞金としてお渡しさせて頂きました。多くの支援を頂いた皆様にお礼申し上げると共に、被災会員だけでなく、地震で影響のあった方々の一日も早い通常生活復帰を願って止みません。義援金のお礼として、坂田会長より全国連総会で謝辞をお伝えし、またお礼品として自家生産のお米を全国連へ送付しています。

義援金の残金に関しては一般会計へ計上しますが、今後の震災・豪雨復旧活動に関する費用(保険代や用具代等)に限定して使途する事とし、出金管理します。

頂いた義援金と、使途に関して下記の通り報告致します。

収入		支出	
【義援金】		【被災会員へのお見舞い金】	
石川県連	¥186,907	延べ 14 名分計	¥3,850,000
全国連盟	¥4,351,475	【震災、豪雨復旧活動関係費用】	
京都府連	¥160,786	ボランティア活動保険代	¥34,412
大田山の会(東京都連)	¥20,100	義援金のお礼送付代	¥2,310
ハイキングクラブはりま (兵庫県連)	¥10,165	計	¥36,722
計	¥4,729,433	【義援金残金】	
		義援金残金	¥842,711
合計	¥4,729,433	合計	¥4,729,433

II. 復旧ボランティア活動

能登半島の地理的制約、行政からの自粛要請もありましたが、2 月より災害復旧に特化したボランティア団体「RAT s NEST」との協働が実現し、県連内で参加者を募り復旧ボランティア活動を実施しました。地元山岳団体として組織力、山間地での作業が可能な点、クライミング要素が必要な作業が可能な点、登山道整備での伐採作業が可能な点を活かして活動しました。全国連へもボラ参加を募集、ロコミ募集でランニング愛好家多数の参加もあり、2 月～11 月で実施回数 21 回、延べ参加人数 162 名となりました。内訳(全て延べ数)は石川県連 95 名、京都府連 6 名、愛知県連 2 名、ランニング愛好者 57 名、一般 2 名でした。

実施日と参加者、作業内容は次頁の通りです。

	実施日	参加人数	作業内容					
			ブロック塀	屋根	伐採	土砂	家財	水害
1	2月24日	3	●					
2	3月2日	14	●					
3	3月9日	4	●					
4	3月17日	8	●					
5	3月23日	9	●					
6	4月6日	6	●					
7	4月20日	5	●	●				
8	4月29日	3	●		●			
9	5月4日	2			●			
10	7月13日	3		●				
11	7月14日	2			●			
12	7月27日	7					●	
13	8月3日	5			●			
14	8月17日	22				●		
15	8月18日	3					●	
16	8月31日	29			●	●		
17	9月23日	8						●
18	9月28日	6				●		
19	10月6日	4						●
20	10月12日	16				●		
21	11月4日	3			●			
	合計	162	8	2	6	4	2	2

【ボランティア作業状況】



第2号議案 2024年度決算報告

2024年2月1日～2025年1月31日

【一般会計】

収入の部

項目	会間交流関連	決算	予算	増減	備考
1. 連盟費	計	1,225,620	1,239,720	-14,100	
	一律分担金	24,000	24,000	0	¥4000*6団体
	比例分担金	1,201,620	1,215,720	-14,100	上期267名(100超5)/下期252名 380円/月・人:100人超330円/月・人
2. 事務所使用料	計	142,800	144,900	-2,100	
	めっこ・チャムラン・でんでん	142,800	144,900	-2,100	上期73名/下期63名:175円/月・人
3. 雑収入	計	45,680	128,804	-83,124	
	コピー使用料	2,074	1,500	574	めっこ1396円、ハイキング678円
	印刷機使用料	0	2,000	-2,000	
	全国連盟安全対策基金補助	15,000	100,000	-85,000	ステップアップ講習会
	登山道整備県連分	0	0	0	チブリの仲間で会計
	預金利息	406	10	396	
	地方団体事務推進費	28,200	26,700	1,500	地方団体事務推進費
	その他ノ未収金	0	-1,406	1,406	
4. 震災義援金	計	4,729,433	0	4,729,433	
	石川県連	186,907	0	186,907	
	全国連盟	4,351,475	0	4,351,475	
	京都府連	160,786	0	160,786	
	大田山の会(東京都連)	20,100	0	20,100	
	ハイキングクラブはりま(兵庫県連)	10,165	0	10,165	
	合計	6,143,533	1,513,424	4,630,109	※震災義援金のため大幅増

支出の部

項目	内訳	決算	予算	増減	備考
1. 全国連盟費	計	438,120	431,880	6,240	
	一律分担金	21,600	21,600	0	¥3600*6団体
	比例分担金	416,520	410,280	6,240	¥130*267名*12カ月
2. 事務所関係費	計	326,831	379,000	-52,169	
	家賃	269,000	333,000	-64,000	2・3・4月分は前年度、1月は3月引き落とし
	水道料金	27,714	17,000	10,714	
	電気料	20,117	19,000	1,117	1月分まで引き落とし済
	火災保険料,更新料	10,000	10,000	0	
3. 事務局費	計	162,607	191,000	-28,393	
	消耗品費	73,500	90,000	-16,500	レノボPC
	インターネット回線	47,000	47,000	0	おてがるマンション光3883円*12
	県連ホームページ	26,191	30,000	-3,809	さくらインターネット回線
	プロバイダ(ドメイン使用料)	11,481	0	11,481	お名前.com 27年度まで支払い済
	通信費	0	1,000	-1,000	
	コピー管理費	0	10,000	-10,000	
	印刷機経費	0	5,000	-5,000	
	振込料	4,435	8,000	-3,565	
4. 会議費	計	130,575	135,100	-4,525	
	総会会場費等	13,200	6,000	7,200	2023年度6000円、2024年度7200円
	総会議案書印刷代	76,950	79,000	-2,050	外注印刷(2023年度総会)
	理事会交通費	13,680	20,000	-6,320	
	会議費等	0	10,000	-10,000	
	オンライン会議費	26,745	20,100	6,645	Zoom年会費
5. 活動費	計	113,881	340,000	-226,119	
	専門部活動費	107,881	300,000	-192,119	専門部決算*1
	他団体会費	0	0	0	
	会議派遣費	6,000	20,000	-14,000	専門部決算*2
	講習会派遣費	0	20,000	-20,000	専門部決算*2
6. 予備費		0	10,000	-10,000	
7. 特別会計繰入	計	53,200	51,700	1,500	
	地方団体事務推進費	28,200	26,700	1,500	遭難対策特別会計
	記念事業特別会	25,000	25,000	0	特別支出準備金特別会計へ
8. 連盟費返金	計	0	0	0	
	2023年度分	0	0	0	
9. 震災関連	計	3,886,722	0	3,886,722	震災義援金(収入の部.4)から支出
	被災会員お見舞い金	3,850,000	0	3,850,000	
	ボランティア活動保険代	34,412	0	34,412	
	その他(お礼品の送料)	2,310	0	2,310	
	小計	5,111,936	1,538,680	3,573,256	
	当期剰余金	1,031,597	-25,256	1,056,853	

項目	決算	予算	増減	備考
1. 前年度繰越金	1,015,910	1,015,910	0	
2. 当期剰余金	1,031,597	-25,256	1,056,853	
3. 次年度繰越金	2,047,507	990,654	1,056,853	

ゆうちょう通帳(次年度繰越金) 2,047,507 → 一般会計繰越金 2,047,507

(債権・債務)

2024年度会計(債権)

印刷機使用料	3,084	コピー使用料514枚×6円
--------	-------	---------------

* 1 専門部活動費決算

専門部	細目	決算	予算	増減
組織活動統括部	労山まつり企画補助	10,000	10,000	0
	北信越交流登山関連	0	10,000	-10,000
	会間交流関連	0	20,000	-20,000
	登山道整備参加者助成⇒チブリの仲間へ	0	0	0
	登山道整備備品購入⇒チブリの仲間へ	0	0	0
	県連ホームページ・プロバイダー⇒事務局費へ	0	0	0
	広報関係チラシ作成	10,000	20,000	-10,000
	その他、組織活動統括部関連	0	10,000	-10,000
	小計	20,000	70,000	-50,000
教育遭対統括部	ステップアップ登山講習会(保険含む)	12,881	100,000	-87,119
	ベルクバハト特別会計へ	35,000	70,000	-35,000
	全国連盟安全対策基金補助(北陸雪崩分担金)	40,000	40,000	0
	事故対処講習会	0	10,000	-10,000
	北陸地区登山技術講習会	0	10,000	-10,000
	その他、教育遭対統括部関連	0	10,000	-10,000
		小計	87,881	240,000
	合計	107,881	310,000	-202,119

* 2 派遣費決算

科目	細目	決算	予算	増減
会議派遣費	全国総会日当・宿泊費1名分	6,000	10,000	-4,000
	全国山岳遭難対策協議会	0	10,000	-10,000
		合計	6,000	20,000
講習会派遣費	全国組織担当者会議(福岡県)、山岳医療の研修(冬期)	0	20,000	-20,000
		合計	0	20,000

【特別会計】

(1) 県連遭難対策特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	2,127,392	次年度繰越金	2,155,795
遭対還元金	28,200		
預金利息	203		
合計	2,155,795	合計	2,155,795

北國銀行普通預金 ￥ 2,155,795

※ 設置目的 遭難時緊急支援基本のベースとなる資金
救助隊の高額装備の整備・隊員の技術力向上のための
特別研修や活動支援のための資金

(2) 県連財政調整特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	1,436,317	次年度繰越金	1,436,454
預金利息	137		
合計	1,436,454	合計	1,436,454

北國銀行普通預金 ￥1,436,454

※ 設置目的 一般会計・他の特別会計の不足資金の補給
一般会計に負荷のかかる資金需要への対応

(3) 県連特別支出準備金特別会計報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	500,942	次年度繰越金	525,989
積立	25,000		
預金利息	47		
合計	525,989	合計	525,989

北國銀行普通預金 ￥525,989

※ 設置目的 記念事業の準備資金
多額の臨時支出（高額の備品の購入等）の準備金

(4) 救助隊ベルクバハト特別会計収支報告

項目	収入	項目	支出
前年度繰越金	100,000	無雪期訓練費	24,000
県連一般会計より	35,000	積雪期訓練費	11,000
		交流会	-
		装備購入	-
		振込手数料	-
		次期繰越金	100,000
合計	135,000	合計	135,000

★県連保有資金合計	
一般会計	2,047,507
おてがるマンション光口座	20,289
遭対特別会計	2,155,795
財政調整特別会計	1,436,454
特別支出準備金	525,989
ベルクバハト	100,000
合計	6,286,034

県連一般会計から繰入れられました

※ 設置目的 救助隊の経常的な活動経費

会計監査報告書

2024年2月1日～2025年1月31日までの石川県勤労者山岳連盟
の事業の状況、各会計の帳簿などの監査を実施したところ、すべて適正、
良好であったことを報告いたします。

監査日時 2025年2月10日

監査場所 県連事務所

立会役員

会計 北市 正・理事長 山内 隆

北市 正  山内 隆

2025年2月10日

石川県勤労者山岳連盟

会長 坂田 孝雄 様

監事 小松ブルーベル山の会
チャムラン山の会

奇 西 和 重 
菊 正 美 

第3号議案 2025年度活動方針

1. はじめに

前年度からの抱えて来た色々な課題を引き続き(継続)して取り組んでいきます。

- 1) 老若男女問わず、自然に親しみ、山に登って楽しむ中でも登山の多様化が進んでいます。
その一方で高齢の登山者の事故多発、高みを目指す方々の為の知識、事故防止の勉強会
講習会等のサポートを行います
- 2) 2025年度は、前年度に引き続きチブリ尾根登山道をチブリと仲間、一般の方々と共に連携
を取りながら登山道整備を行います。
- 3) 2024年能登半島の地震、9月の豪雨水害が起きました。復旧にはまだまだ遠く かかる状
況です。

2025年度石川県勤労者山岳連盟は前年度に引き続き、山岳会として出来る事を被災された
方々に支援をしたいと思えます。会員の皆様にご協力をよろしくお願いたします。

2. 理事会・事務局運営方針

(1)理事会

原則、毎月第2水曜日の 19:30 から理事会を開催します(8月と2月は第1水曜日に実施)。
オンラインによる理事会参加が定着している事から、オンラインは継続します。

例年の退会理由に山岳団体の役員担当の煩雑さが挙がっています。理事、役員負担軽減
策として、事務作業の定型化と明文化による簡素化、理事会開催時間の短縮による拘束時間低
減を図って行きます。事務負担を軽減する方策として、各会の協力を得て会間交流やクリーンハ
イク、労山まつりの次年度日程を今年度内に決めて頂きました。

理事、役員間の連絡は従来のメーリングリストを活用します。25年度もより連絡フットワークの
良い Line グループも活用して意思疎通、情報共有を迅速、密にします。

25年度も昨年度同様、全国連盟からの連絡事項は理事間で情報共有して各会へ展開します。
また、理事会・県連の動きが分かるように県連ニュースを発行します。

(2)事務局

- ① 県連ニュースは理事長が発行します。全国連盟・県連の情報提供ができるよう努めます。
- ② 理事会の議事録の作成について、理事長が発行いたします。
- ③ 業務の引き継ぎがスムーズに行われるよう、役割分担表の作成や引き継ぎの場を設けるなど、県連の業務が円滑に進行していくようにいたします。
- ④ 事務所管理(資料・備品の整理、清掃、消耗品の補充等)を確実にを行い、例会等で事務所を利用する会と県連とで定期的に掃除を行い、環境配慮に努めます。

※事務所掃除当番(必要なことはそれぞれ適宜行う)

4.8.12月…県連 5.9.1月…でんでん

6.10.2月…チャムラン 7.11.3月…めっこ

- ⑤ 県連事務所は県連HPを利用して予約し、年度単位で確認し、重複予約を防ぎます。(特に、臨時理事会など)
各クラブが使用するときは事前メールにて確認してください。
- ⑥ 能登半島地震の支援ボランティアに石川県勤労者山岳連盟で団体登録しました
石川県からのボランティア要請は都度、各会へ伝達して協力依頼します。
- ⑦ 県連共有ドライブに各会の会報の保存先を設けました
会報のアップロード状況は理事会を通じて各会へ伝達し、各自が閲覧できるようにします
※共有ドライブへのアクセスは巻末の補足資料を参照

3. 組織活動統括部活動方針

I. 組織活動関連

(1) 組織活動の方針

組織の活性化や組織拡大につながるような、魅力的な会間交流山行の企画、ホームページやアピール動画を活用した広報活動も継続して行います。

(2) 労山まつり

2025年度はでんでん虫倶楽部が幹事会です。

実施日：2025年8月30日(土)

場 所：未定

内 容：キャンプを行い、各会で交流を行いたいと思います

下記は2025年度以降の主催山岳会一覧予定です。

2025年	でんでん虫倶楽部	2028年	白山フウロ山岳会
2026年	小松ブルーベル山の会	2029年	めっこ山岳会
2027年	金沢ハイキングクラブ	2030年	チャムラン山の会

(3) 北信越ブロック協議会

北信越ブロック(石川、富山、福井、新潟、長野各県連)で連携を図り、活動を進めていきたいと思いをします。

① 北信越交流登山

主管：福井県連

日程：2025年9月27・28日(土・日)

場所：摩耶姫湖キャンプ場で交流会、翌日に山行

備考：詳細は文書を作成して送付します、との事でした。

コロナ禍をはさんで、久々の北信越交流登山の開催です。石川県連からもふるって参加したいと思いをします！

② 第27回北陸地区雪崩講習会(主管 石川 協賛 福井、富山、新潟)

※委員会でも内容を記載します。

③ 北陸地区登山技術研修会

※教育遭対統括部でも内容を記載します。

II 会間交流

石川県連の魅力の一つは、各会の横のつながりがある事だと思います。

会間交流登山により、新たなコミュニケーション、新たな山行、新たな気づき、を得る事ができる、そんな各会魅力的な交流登山を提案しています。

主幹会	開催日	山域	山行
でんでん虫倶楽部	5月25日(日)	未定	
白山フウロ山岳会	6月8日(日)	白山釈迦岳	
めっこ山岳会	9月7日(日)	ザクロ谷見学	沢登り
チャムラン山の会	10月25日(土)	口三方岳	標識メンテ山行
小松ブルーベル山の会	11月16日(日)	日野山	
金沢ハイキングクラブ	2026年1月17日(土)	取立山	ワカンハイク

III. 自然保護活動関連

(1) 清掃登山(クリーン登山)活動

主に秋季に、各会で計画し清掃登山を実施しています。

近年では登山道でゴミを見る事は少なくなりましたが、こうした登山者の地道な積み重ねがあって今の姿があるのだと思います。そのため、ぜひ継続して続けていきたいと考えます。

活動結果は全国連盟へ報告します。

2025年度 清掃登山予定

山岳会	開催日	山域
チャムラン山の会	5月24日(土)	オンソリ山
金沢ハイキングクラブ	5月25日(日)	医王山
金沢ハイキングクラブ	9月7日(日)	白山
白山フウロ山岳会	10月18日(土)	三方岩岳～野谷荘司山
めっこ山岳会	10月19日(日)	倉ヶ岳
でんでん虫倶楽部	10月19日(日)	大日山
小松ブルーベル山の会	10月26日(日)	鞍掛山

IV. 企画・広報活動

(1) 県連ホームページの活動

「石川県連の活動は必ず県連ホームページで報告する」、事を目標に、定期的な更新を行い、常に最新かつ魅力的な情報配信を心掛けることで新規会員の獲得に繋がります。

また google ドライブを利用したデータ共有を進めます。

(2) 広報活動 県連チラシ

県連チラシを年1回、5月に作成、配布を予定しますが、チラシによる新入会員獲得に繋がる効果について再検討を行う予定です。次回チラシ配布を行う際は、登山後に立ち寄る温泉地への配布を検討します。

(3) 広報活動 県連及び各会のPR動画

石川県連のPR動画を更新し、金沢エムザの好日山荘様での上映をお願いしたいと思っています。動画はYoutubeに公開済み。他のSNSの活用も検討します。

V. その他

(1) 久弥祭

「日本百名山」を著した深田久弥の功績をたたえる『久弥祭』を、富士写ヶ岳の麓(九谷ダム広場)で例年開催しております。

今年度の開催は次の通りです。石川県連からもふるって参加をお願いします。

日時: 2025年4月27日(日) 8:00~

場所: 富士写ヶ岳 九谷ダム広場

主催: 久弥祭実行委員会

山中山岳会、石川県勤労者山岳連盟、加賀山岳会、日本山岳会石川支部、NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会

後援: 加賀市

第29回 久弥祭

深田久弥 (1903年~1971年)
石川県大聖寺町(現加賀市)生まれ
山の文学者、小説家、登山家、エッセイスト、ラジオパーソナリティ、研究者。著書には『日本百名山』や『ヒマラヤの風情』など多数

深田久弥の原点の山《富士写ヶ岳》に集いましょう

日時: 令和7年4月27日(日) 午前8時より
場所: 富士写ヶ岳・九谷ダム広場 石川県加賀市山中温泉枯瀬町
式典: 献酒・献花・献句・著作朗読等
備考: 小雨決行
但し先天時の開催は前日の午後4時以降に山の文化館まで電話又は来場予約にてご確認ください。
※式典後の富士写ヶ岳登山は自己責任でお願いします。
※深田久弥ゆかりの遺跡案内を行います。
参加ご希望の方は10:00までに「深田久弥 山の文化館」にお越しください。
連絡先: 深田久弥 山の文化館
石川県加賀市大聖寺遺蹟町10-2
TEL 0761-72-3313
<https://yamanebunkakan.com>

主催: 久弥祭実行委員会
山中山岳会・石川県勤労者山岳連盟
公益社団法人日本山岳会石川支部
NPO法人深田久弥と山の文化を愛する会
後援: 加賀市

(2) 他団体との連携

他山岳団体との共同イベントの企画等、連携を図っていきたく思います。

5.教育遭対統括部活動方針

今年度も、会員の山の知識・技術の向上、学習の場の提供として、石川県連の「教育遭対」が役割を果たせるように努めたいと思います。昨年度の事故事例を教訓とし、同じ事故を未然防止する事、事故発生時の迅速適切な処置の実施を軸に安全安心登山を進めて参ります。

I. 教育遭対活動関連

(1) 第16回ステップアップ講習会

【日 時】 : 未定

【場 所】 : 富山県立山登山研修所及びその周辺 (予定)

【計画概要】 : 初級クライミングコース

【募集人数】 : 20名程度

【講 師】 : 石川労山の適格者と、県連の教育遭対役員等で対応

【検討事項】 : 参加人数の確保を目的に如何にPRするか検討したい

(2) 北陸地区登山技術研修会

隔年開催を行なっている北陸地区登山技術研修会は3県合同研修会で、企画目的、内容を設定し、県連所属会に参加者を求めます。当技術講習会の参加者は、研修の成果を持ち帰って所属会での講習会、研修会の企画、指導にあたって頂きたいと思います。

なお、2025年度は活動の予定はありません。

(3) 事故対処講習会

事故を防止するための知識・体力。または事故を起こしてしまった時にどう対処すれば良いのかを学ぶための講習会です。

北陸地区登山技術研修会が開催されない年度に開催します。

【日 時】 : 未定

【場 所】 : 未定

II. 救助隊活動関連

労山会員の事故、遭難発生に対し、所属会からの要請を受け救助・救出活動にあたる隊員の訓練を本年度も継続して行います。 労山所属会の自らの救助、救出訓練を合同で行なうこととしてお

ります。

本年度は、チャムラン山の会との合同訓練を行います。各会においては、自主的に事故や救助についての学習会や訓練機会を設け、自らの救助行動のレベルアップに努めて下さい。

今後の主管会の予定

2025年	チャムラン山の会
2026年	白山フウロ山岳会
2027年	金沢ハイキングクラブ
2028年	でんでん虫倶楽部
2029年	めっこ山岳会
2030年	小松ブルーベル山の会

(1) 事務局および救助隊組織

救助活動発生に伴う、県連と所属会との連携、隊長以下隊員との連絡、出動要請の為の隊員名簿一覧（住所、電話番号、メールアドレスなど）を整備します。

救助隊については、新隊長の組織構想を基に編成しますが、今年度以降の活動をさらに精力的にかつ円滑に推し進めていくために隊員数の増員・増強を各会に呼びかけます。

また、ベルクバハト救助隊のメーリングリストのメンテナンスと活用を行います。

(2) 救助隊員の技量向上に向けた研修、講習への参加

選任された救助隊員の中から、救助技術の習得、向上に向けた外部企画の講習や研修への（例：国立登山研修所などの救助活動講習など）参加希望者を募集し、講習費用の一定額を負担します。

(3) 救助訓練

日程が決まり次第、県連ニュースにて周知いたします。

①無雪期救助訓練

◆日 時 :

◆内 容 :

◆主 管 会 :

②積雪期救助訓練

◆日 時 :

◆内 容 :

6.委員会活動方針

I. 北陸雪崩

第28回 北陸雪崩講習会

今年も引き続き、積雪期登山や山スキーでのリスク低減のため、知識向上と技術向上を目的として実施します。参加者は、労山会員以外にも一般の方の参加者も多く、労山組織の枠を超えた北陸エリアの雪崩講習会を開催という実態になって来ています。これまでの蓄積を基に、本年度も講習会を開催します。

【主催】： 日本勤労者山岳連盟

【主管】： 石川県勤労者山岳連盟

【共催】： 福井、富山、新潟県勤労者山岳連盟

◆日時・会場：

・机上講習 2025年12月7日を予定

場所：松任総合運動公園（予定）

・実技講習 2026年1月24日・25日を予定

場所；一里野、瀬女、中宮、谷峠周辺（予定）

II. チブリの仲間

今年度も引き続き、石川県からの別山市ノ瀬道維持管理業務と環白山保護利用管理協会からの外来植物対策業務(チブりと三ノ峰)を受託し、労山会員や一般参加者と共に活動します。労山各会と協働の「各会主幹回」、一般募集の「自然学校回」、所属会に依存しない自由参加の「有志回」に分けて、下記の日程で実施します。

下草刈込、登山道整備、外来植物対策、一般参加者補助に関するスタッフ要員の養成に努め、各会へ刈り払い機やチェーンソー資格取得を促すと共に、委員長主体活動の中に、スタッフ養成の教育を組み込んで行きます。一般募集は、いしかわ自然学校やいしかわ地域おこし協力隊を活用します。

【25年度の予定】

(1) 労山各会との登山道整備

月日	会	作業内容
5/17(土)	白山フウロ山岳会	避難小屋整備 倒木処理
6/14(土)	チャムラン・ でんでん	登山道整備 下草刈り込み

7/5(土)	小松ブルーベル	登山道整備 下草刈り込み
8/9(土)	めっこ山岳会	下草刈込
9/6(土)	金沢ハイキングクラブ	登山道整備 下草刈り込み

(3) 一般募集の活動(いしかわ自然学校、地域おこし協力隊へプログラム申請)

月日	内容
5/31(土)	登山道整備
6/21(土)	オオバコ除去
7/12(土)	自然観察会
7/26(土)	登山道整備
8/23(土)	登山道整備
9/13(土)	自然観察会
9/27(土)	登山道整備

(2) 有志回

月日	内容
5/10(土)	残雪後の点検
6/7(土)	登山道整備 下草刈り込み
6/28(土)	オオバコ除去 三ノ峰
7/19(土)	スタッフ候補との現地レベル合わせ 勉強会
8/2(土)	避難小屋塗装
8/30(土)	避難小屋塗装(予備)
9/20(土)	登山道整備 下草刈り込み
10/18(土)	避難小屋撤収
10/25(土)	登山道整備 下草刈り込み
11/1(土)	登山道整備 下草刈り込み

第12回_白山登山道ミーティング

11/22(土) 16:00～ 吉野谷セミナーハウスの予定

7. その他.令和 6 年能登半島地震への対応

25 年度の予定

引き続き、復旧ボランティア活動を継続します。毎月の実施日を決め、各会へ募集し息の長い活

動を目指します。実施場所、内容は都度ボランティア団体と相談して決めます。機会があれば、震災で手入れが行き届かなくなった登山道の整備にも関わって行きたいと思います。活動の日程は、県連の各会活動日程との重複を避け、下記を予定しています。理事会にて次月実施内容を審議し、県連ニュースにて各会へ周知致します。大勢のご参加をお願い致します。

3月	15日(土)
4月	19日(土)
5月	18日(日)
6月	15日(日)
7月	20日(日)
8月	16日(土)
9月	21日(日)
10月	11日(土)
11月	22日(土)
12月	13日(土)
1月	24日(土)
2月	14日(土)

集合：金沢周辺 6：30 頃

作業場所：志賀町/輪島市その他

作業時間：8：00 頃～17：00 頃

作業内容：土砂運搬、家屋清掃、片付け、屋根補修ほか都度現地ボランティア団体と事前打合せ

持ち物：作業内容で都度案内します

※傷害保険は都度団体加入します(個人加入漏れ、更新忘れ防止のため)

第3号議案付属資料 2025年度 石川県勤労者山岳連盟 活動カレンダー(予定)

作成 2025/2/3

		2025年 3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月
事務局	※第2水曜 水曜	2 日 第1回理事会	9 水 理事会	14 水 理事会	11 水 理事会	9 水 理事会	6 水 理事会 ※第1水曜	10 水 理事会	8 水 理事会	12 水 理事会	10 水 理事会	14 水 理事会	4 水 理事会
	業務	12 水 第2回理事会 3/2 県連総会 メンバーリスト Lineグループ 理事名簿 掃除・め	会長名簿 掃除・県	掃除・で 会員数報告	掃除・チャ	掃除・め	掃除・県	掃除・で	掃除・チャ	掃除・め	大掃除・県	掃除・で 総会準備開始 総会準備 地方連活動報告	3/1 県連総会 議案書の配布 議案書印刷・配布
組織活動 統括部	組織活動		PR動画作成										
	会間交流			25 でんでん (未定)	8 フウロ (釈迦岳)		30 労山まつり (でんでん)	7 めっこ (ザクロ谷)	25 チャムラン (口三方岳)	16 ブルーベル (日野山)		17 ハイキング (取立山)	
	ハイキング			24 チャムラン (オンソリ山) 25 ハイキング (医王山)			7 ハイキング (白山)	18 フウロ (三方岩岳) 19 でんでん(大日山) 19 めっこ(倉ヶ岳) 26 ブルーベル (鞍掛山)					
	企画広報	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新	HP更新
	遭対育				未定 事故対処講習会						未定 ステップアップ講習会		
委員会	救助隊		救助隊名簿作成	無雪期救助訓練 チャムラン主幹 (未定)									積雪期救助訓練 チャムラン主幹 (未定)
	チブリの仲間			10 チブリの仲間 17 フウロ	7 チブリの仲間 14 チャムラン でんでん	5 ブルーベル 12 自然学校	2 チブリの仲間 9 めっこ	6 ハイキング 13 自然学校 20 チブリの仲間 27 自然学校	18 チブリの仲間 25 チブリの仲間	22 登山道ミーティング	7 机上講習	24 実技講習	25
連全 他連		27 久弥祭				遭対対策担当者会議			若手クライミング講習会 全国ハイキング交流	全国海外山行交流 全国自然保護集会		全国雪崩講習会 未定 総会	

震災復興ボラ 15 志賀/輪島 19 志賀/輪島 18 志賀/輪島 15 志賀/輪島 20 志賀/輪島 16 志賀/輪島 21 志賀/輪島 11 志賀/輪島 22 志賀/輪島 13 志賀/輪島 24 志賀/輪島 14 志賀/輪島

※教育遭対のステップアップ講習会、救助隊の無雪期救助訓練・積雪期救助訓練の日時は未定

第4号議案 2025年度予算案

2025年2月1日～2026年1月31日

【一般会計】

収入の部

項目	内訳	25年予算	24年決算	24年予算	前年実績比	備考
1. 連盟費	計	1,173,120	1,225,620	1,239,720	-52,500	
	一律分担金	24,000	24,000	24,000	0	¥4000*6団体
	比例分担金	1,149,120	1,201,620	1,215,720	-52,500	会員数252名で試算 380円/月・人:100人超330円/月・人
2. 事務所使用料	計	132,300	142,800	144,900	-10,500	
	めっこ・チャムラン・でんでん	132,300	142,800	144,900	-10,500	会員数63名で試算 175円/月・人
3. 雑収入	計	132,784	45,680	128,804	87,104	
	コピー使用料	2,000	2,074	1,500	-74	24年度実績で増額
	印刷機使用料	2,000	0	2,000	2,000	長期間使用実績なし、廃却検討
	全国連盟安全対策基金補助	100,000	15,000	100,000	85,000	
	預金利息	500	406	10	94	金利上昇のため増額
	地方団体事務推進費	25,200	28,200	26,700	-3,000	会員数252名
	その他/未収金	3,084	0	(1,406)	3,084	コピー機使用料
4. 震災義援金	計	0	4,729,433	0	-4,729,433	
	震災義援金	0	4,729,433	0	-4,729,433	
	合計	1,438,204	6,143,533	1,513,424	-4,705,329	

支出の部

項目	内訳	25年予算	24年決算	24年予算	前年実績比	備考
1. 全国連盟費	計	414,720	438,120	431,880	-23,400	
	一律分担金	21,600	21,600	21,600	0	¥3600*6団体
	比例分担金	393,120	416,520	410,280	-23,400	¥130*252名*12カ月
2. 事務所関係費	計	468,000	326,831	379,000	141,169	
	家賃	408,000	269,000	333,000	139,000	¥34000/月 3.6.9.12月に3ヶ月分引落
	水道料金	30,000	27,714	17,000	2,286	24年度実績で増額
	電気料	20,000	20,117	19,000	-117	24年度実績で増額
	火災保険料,更新料	10,000	10,000	10,000	0	
3. 事務局費	計	109,000	162,607	191,000	-53,607	
	消耗品費	1,000	73,500	90,000	-72,500	購入予定品ないため減額
	インターネット回線	47,000	47,000	47,000	0	おてがるマンション光3883円*12
	県連ホームページ	30,000	26,191	30,000	3,809	さくらインターネット回線
	プロバイダ(ドメイン使用料)	0	11,481	0		お名前.com 27年度まで支払い済
	通信費	1,000	0	1,000	1,000	郵送費
	コピー管理費	15,000	0	10,000	15,000	インク代
	印刷機経費	10,000	0	5,000	10,000	長期間使用実績なし、廃却検討
	振込料	5,000	4,435	8,000	565	実績に合わせて減額
4. 会議費	計	137,000	130,575	135,100	6,425	
	総会会場費等	6,000	13,200	6,000	-7,200	24年度分は清算済
	総会議案書印刷代	79,000	76,950	79,000	2,050	
	理事会交通費	15,000	13,680	20,000	1,320	オンライン普及のため減額
	会議費等	10,000	0	10,000	10,000	
	オンライン会議費	27,000	26,745	20,100	255	Zoom年会費
5. 活動費	計	340,000	113,881	340,000	226,119	
	専門部活動費	300,000	107,881	300,000	192,119	専門部決算*1
	会議派遣費	20,000	6,000	20,000	14,000	専門部決算*2
	講習会派遣費	20,000	0	20,000	20,000	専門部決算*2
6. 予備費	計	10,000	0	10,000	10,000	
7. 特別会計繰入	計	50,200	53,200	51,700	-3,000	
	地方団体事務推進費	25,200	28,200	26,700	-3,000	
	記念事業特別会	25,000	25,000	25,000	0	特別支出準備金特別会計へ
8. 連盟費返金	計	0	0	0	0	
9. 震災関連	計	842,711	3,886,722	0	-3,044,011	※26年度に残金ある場合別会計を検討
	お見舞金	0	3,850,000	0	-3,850,000	
	復旧ボラ活動(保険や用具、等)	120,000	34,412	0	85,588	
	その他	722,711	2,310	0	720,401	
	小計	2,371,631	5,111,936	1,538,680	-2,740,305	
	当期剰余金	-933,427	1,031,597	-25,256	-1,965,024	

剰余金

項目	25年予算	24年決算	24年予算	前年実績比	備考
1. 前年度繰越金	2,047,507	1,015,910	1,015,910	1,031,597	
2. 当期剰余金	-933,427	1,031,597	-25,256	-1,965,024	
3. 次年度繰越金	1,114,080	2,047,507	990,654	-933,427	

2025年度連盟費予算内訳

2024年11月時会員数

会名	会員数	一律分担金	比例分担金	連盟費合計	事務所使用料	請求合計
でんでん虫倶楽部	9	4,000	41,040	45,040	18,900	63,940
小松ブルーベル山の会	79	4,000	360,240	364,240	0	364,240
チャムラン山の会	30	4,000	136,800	140,800	63,000	203,800
めっこ山岳会	24	4,000	109,440	113,440	50,400	163,840
白山フウロ山岳会	14	4,000	63,840	67,840	0	67,840
金沢ハイキングクラブ	96	4,000	437,760	441,760	0	441,760
計	252	24,000	1,149,120	1,173,120	132,300	1,305,420

2025年度専門部活動予算

専門部	細目	2025年度予算	2024年度決算	2024年度予算
組織活動統括部	労山まつり企画補助	10,000	10,000	10,000
	北信越交流登山関連	10,000	0	10,000
	会間交流関連	10,000	0	20,000
	登山道整備参加者助成(※ちぶりの仲間会計に)	0	0	0
	登山道整備備品購入(※ちぶりの仲間会計に)	0	0	0
	県連ホームページ・プロバイダー(※事務局費に)	0	0	0
	広報関係チラシ作成	20,000	10,000	20,000
	その他、組織活動統括部関連	10,000	0	10,000
	小計	60,000	20,000	70,000
教育遭対統括部	ステップアップ登山講習会等	100,000	12,881	100,000
	ペルクバハト特別会計へ	70,000	35,000	70,000
	北陸雪崩講習会負担金	40,000	40,000	40,000
	事故対処講習会	10,000	0	10,000
	北陸地区登山技術講習会	10,000	0	10,000
	その他、教育遭対統括部関連	10,000	0	10,000
	小計	240,000	87,881	240,000
	合計	300,000	107,881	310,000

2025年度派遣費予算

科目	細目	2025年度予算	2024年度決算	2024年度予算
会議派遣費	全国総会日当・宿泊費1名分	10,000	6,000	10,000
	全国山岳遭難対策協議会	10,000	0	10,000
	合計	20,000	6,000	20,000
講習会派遣費	女性と登山全国集会・全国雪崩講習会等補助	20,000	0	20,000
	合計	20,000	12,000	20,000

第5号議案 2025年度役員選出の件

2025年度 石川県勤労者山岳連盟役員候補者名簿					
役員 区分	所属会・定員	氏名	再・ 新	担当役職名(案)	備考
理事 14 名	金沢ハイキングクラブ 推薦 4	杉本 猛	再		
		山内 隆	再	理事長	
		守護 裕計	再		
		花村 海香	新		
	小松ブルーベル山の会 推薦 3	矢野 隆史	新	副理事長	
		松村 勢紀乃	再		
		松本 結香	新		
	チャムラン山の会 推薦 3	越野 晃	新	副会長(教育遭対統括)	
		北市 正	再	会計	
		朴木 孝之	再		
	でんでん虫倶楽部 推薦 1	坂田 孝雄	再		
	白山フウロ山岳会 推薦 2	安藤 雅徳	再	会長	
		河崎 由紀子	再		
	めっこ山岳会 推薦 2	浅瀬 和人	再	副会長(組織統括)	
高原 義光		再			
監事 2名	小松ブルーベル山の会	皆本 尚市	新		
	でんでん虫倶楽部	山崎 浩二	新		

※ 規約に基づき、理事会が定めた定員内ですので、信任投票となります。

※ 監事は4役(3役)を選出していない会からの選出となります。

石川県勤労者山岳連盟 補足資料

－ 目 次 －

<ルール>

- ・57回定期総会で議決された「役員選考ルール」
- ・石川県勤労者山岳連盟 定期総会議長選出ルール

<規約、規定>

- ・石川県勤労者山岳連盟規約(2020/10/14改訂)
- ・石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定(2016/03/06改訂)
- ・石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定(2022/03/06改訂)

<補足資料>

- ・事務所複合機(2022年度導入)簡易使用手順書
- ・IWAF共有ドライブ(Googleアカウント)使用手順
- ・「チブリの仲間」現地打合せ議事録

【資料】 57 回定期総会で議決された「役員選考ルール」

	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	2030 年度	2031 年度	2032 年度	2033 年度	2034 年度
Aブロック	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A
Bブロック	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長
Cブロック	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B	会長 副理事長	会長 理事長	理事長	副会長A	副会長A 副会長B	副会長B

Aブロック : 小松ブルーベル山の会 ・ 白山フウロ山岳会

Bブロック : チャムラン山の会 ・ めっこ山岳会

Cブロック : 金沢ハイキングクラブ・でんでん虫倶楽部

県連三役名簿

※2008 年から 2011 年までは役員選考会で推薦、2012 からはルールが確立しブロック内で推薦

	会長		副会長A		副会長B		理事長		副理事長	
2025	安藤	フウロ	浅瀬	めっこ	越野	チャムラン	山内	KHC	矢野	ブルーベル
2024	坂田	でんでん	安藤	フウロ	浅瀬	めっこ	山内	KHC	—	—
2023	坂田	でんでん	安藤	フウロ	田中	ブルーベル	北市	チャムラン	山内	KHC
2022	浅瀬	めっこ	田中	ブルーベル	杉本	KHC	北市	チャムラン	—	—
2021	浅瀬	めっこ	—	—	石川	KHC	山崎	でんでん	北市	チャムラン
2020	山本	チャムラン	安藤	フウロ	石川	KHC	山崎	でんでん	—	—
2019	山本	チャムラン	安藤	フウロ	林	こだま	石川	KHC	山崎	でんでん
2018	荒川	ブルーベル	浅瀬	めっこ	林	こだま	石川	KHC	—	—
2017	荒川	ブルーベル	浅瀬	めっこ	北村	でんでん	山本	チャムラン	石川	KHC
2016	浅瀬	めっこ	山上	こだま	北村	でんでん	山本	チャムラン	—	—
2015	浅瀬	めっこ	山上	こだま	松井	KHC	荒川	ブルーベル	山本	チャムラン
2014	長堀	こだま	坂田	でんでん	松井	KHC	荒川	ブルーベル	—	—

【資料】役員選考基本ルール

- ①特定のブロックに偏らないようにする。
- ②ブロック内の分担は、所属会で話し合い、決める。
- ③四役が総入れ替えになるようにはしない。概ね、半数づつ入れ替え。
- ④毎年、人が代わるのを避ける。1回2年は続ける。
- ⑤副会長は2体制。但し、その年度の活動計画により、1名でも可。
- ⑥理事長は、引き継ぎのために、副理事長として1年配置する。
- ⑦監事は、四役を出していない会から選任。

【資料】石川県勤労者山岳連盟 定期総会議長選出ルール

1. 県連総会議長選出実績表

2025年3月 2日 第60回	白山フウロ	めっこ山岳会
2024年3月 3日 第59回	小松ブルーベル	金沢ハイキングクラブ
2023年3月 5日 第58回	チャムラン	でんでん虫
2022年3月 6日 第57回	白山フウロ	めっこ山岳会
2021年3月 7日 第56回	こだま山岳会	金沢ハイキングクラブ
2020年3月 1日 第55回	新型コロナ禍で中止	
2019年3月 3日 第54回	でんでん虫	小松ブルーベル
2018年3月 4日 第53回	めっこ山岳会	チャムラン
2017年3月 5日 第52回	こだま山岳会	白山フウロ
2016年3月 6日 第51回	小松ブルーベル	金沢ハイキングクラブ
2015年3月 1日 第50回	チャムラン	でんでん虫
2014年2月23日 第49回	白山フウロ	めっこ山岳会
2013年2月23日 第48回	金沢ハイキングクラブ	こだま山岳会
2012年2月26日 第47回	小松ブルーベル	でんでん虫
2011年2月27日 第46回	めっこ山岳会	チャムラン
2010年2月28日 第45回	こだま山岳会	白山フウロ
2009年3月 1日 第44回	金沢ハイキングクラブ	小松ブルーベル
2008年3月 2日 第43回	チャムラン	でんでん虫

2. 県連総会議長選出会予定一覧表

	第38回	第39回	第40回	第41回	第42回	第43回	第44回	第45回	第46回	第47回	第48回	第49回	
	2003年 3月2日	2004年 3月7日	2005年 3月6日	2006年 3月5日	2007年 3月4日	2008年 3月2日	2009年 3月1日	2010年 2月28日	2011年 2月27日	2012年 2月26日	2013年 2月23日	2014年 2月23日	
こだま山岳会	?			◎				◎			◎		
白山フウロ山岳会	◎				◎			◎				◎	
めっこ山岳会	?	◎			◎				◎			◎	
チャムラン山の会	?	◎				◎			◎				
でんでん虫倶楽部	?		◎			◎				◎			
小松ブルーベル山の会	?		◎				◎			◎			
金沢ハイキングクラブ	?			◎			◎				◎		
	第50回	第51回	第52回	第53回	第54回	第55回	第56回	第57回	第58回	第59回	第60回	第61回	
	2015年 3月1日	2016年 3月6日	2017年 3月5日	2018年 3月4日	2019年 3月3日	2020年 3月1日	2021年 3月7日	2022年 3月6日	2023年 3月5日	2024年 3月3日	2025年	2026年	
こだま山岳会			◎			新 型 コ ロ ナ 禍 で 中 止 以 後 ス ラ イ ド	◎	△	△	△	△	△	
白山フウロ山岳会			◎					◎			◎		
めっこ山岳会				◎					◎			◎	
チャムラン山の会	◎				◎					◎			◎
でんでん虫倶楽部	◎						◎			◎			◎
小松ブルーベル山の会		◎									◎		
金沢ハイキングクラブ		◎						◎			◎		

石川県勤労者山岳連盟規約

第1章 総則

(名称・事務所)

第1条 この組織は、「石川県勤労者山岳連盟」(以下、「本連盟」という)と称する。また、略称を石川労山とする。

2. 本連盟の事務所を石川県野々市市横宮町8-5つばき通り百番ビル206号室に置く。

(加盟組織)

第2条 本連盟は、総会の議決に基づき「日本勤労者山岳連盟」(以下、「全国連盟」という)に加盟する。

第2章 目的と活動

(目的)

第3条 本連盟の目的は、「石川県勤労者山岳連盟趣意書」に則った諸活動を推進することにより、加盟団体とその構成員の登山と会活動の推進に寄与することにある。

(活動)

第4条 本連盟は、前条の目的を達成するために、次の諸活動を行う。

- (1) 登山思潮の学習交流と登山技術の向上のための活動
- (2) 加盟団体の活動に対する指導と援助及び共同事業の推進
- (3) 未組織の地域・職場・学園での山岳会・ハイキングクラブ等の創立支援と本連盟への加盟促進
- (4) 事故防止に関する研究・対策及び啓発事業の実施
- (5) 県連合同救助隊「石川ベルクバハト」の運営
- (6) 山岳自然環境の保全と登山のための社会的条件整備を求める活動
- (7) 加盟団体とその構成員に対する登山関係の情報の提供、その他出版物の発行と普及
- (8) 県内外の山岳団体、自然保護団体、関係行政との連携・協力
- (9) その他、前条の目的達成に必要な活動

第3章 組織

(加盟・脱退)

第5条 趣意書及びこの規約を承認し、連盟加盟費を納入し、所定の加盟手続きを取り、本連盟理事会の承認を受けた団体は、加盟することができる。

2. 加盟団体は、本連盟を自由に脱退することができる。ただし、連盟への債務を精算し、所定の脱退手続きを取り、本連盟理事会の承認を受けた団体は、脱退することができる。

第6条 加盟団体は、6ヶ月間、連盟費を納入しない場合は、本連盟理事会の確認後、加盟団体としての資格を停止する。

2. 加盟団体は、6ヶ月間、連盟費を納入せず、催促するも理由なく滞納する場合、または本規約に重大な違反をした場合は、本連盟理事会の特別議決(出席理事の3分の2以上の発議に基づき、加盟団体の3分の2以上の同意)にて、本連盟から除名することができる。

第4章 機関

第7条 本連盟に、次の機関を置く

(1)総会

- ① 総会は、本連盟の最高議決機関として、定期総会については年1回、2月最終日曜日又は3月第一日曜日に、理事会の確認を経て、会長が招集する。
- ② 総会は、各加盟団体から選出した代議員で構成され、2分の1以上の出席をもって成立する。なお、出席できない代議員は、その権限を他の代理人に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。但し、各会単位での委任状総数は、各会の代議員定員の過半数未満とする。
- ③ 必要に応じて会長は、臨時総会を招集することができる。また、加盟団体の3分の1以上の要請があった時は、臨時総会を開かなければならない
- ④ 総会の決定は、特に定めるものを除いて、出席者の過半数をもって成立する。
- ⑤ 代議員は加盟団体より、構成員5名毎に1名(端数は切り捨て)選出するものとする。但し、連盟の役員(監事を除く)を代議員に選出することはできない。
- ⑥ 前項の構成員とは連盟費納入人員であり、総会の開催される直近の5月末または11月末現在における基本調査報告による。

(2)理事会

- ① 理事会は、総会に次ぐ議決機関であり、唯一の執行機関として、原則として月1回理事長が招集する。
- ② 理事会は、総会で承認された次の理事で構成する。
 - 1)別に定める基準により、加盟団体が推薦する者
 - 2)会長が加盟団体の会員の中から推薦する者
- ③ 理事会は、理事の2分の1以上の出席で成立し、出席理事の過半数の同意により議決する。但し、加盟団体の過半数の同意が得られない場合は、議決結果は保留される。
- ④ 理事は、連盟の業務を分掌する。

(3)事務局

連盟の運営に関する事務を行うため、理事長が総括する事務局を置くことができる。

(4)専門部

- ① 連盟の実務機関として、必要な専門部を置く
- ② 専門部の設置は、毎年度の活動方針の中で定める。但し、理事会の議にて、その変更をおこなうことができる。

(5)事務局・専門部の構成

事務局・専門部は、理事により構成し、その長を各1名、理事会にて選任する、但し、理事長は、必要に応じて理事以外の事務局員・部員を任命することができる。

(6)委員会

必要に応じて実行委員会及び諮問委員会を置く。なお、委員長には理事をあて、委員は理事長 任命する。

(7)山岳救助隊「石川ベルクバハト」

会長の指導のもとに、各会選抜会員による県連合同山岳救助隊「石川ベルクバハト」を設置する。詳細については、県連遭難対策規定にて定める。

(役員)

第8条 本連盟に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 若干名を置くことができる。
 - (3) 理事長 1名
 - (4) 副理事長 若干名を置くことができる。
 - (5) 理事 20名以内
 - (6) 監事 2名
2. 役員(理事・監事)は定期総会において選出し、役員の任期は次の定期総会までとし、再選を妨げない。また、役員の補充は理事会で決定し、補充役員の任期は前任者の残り期間とする。なお、総会までに理事を推薦できなかった加盟団体は、この補充規定を準用して、補充員数を充足する。
3. 理事は、理事の中から、会長・副会長・理事長・副理事長を互選する。

(役員選考)

第8条の2 本連盟に、役員選考委員会を置く

2. 役員選考委員会は、会長・理事長と各会代表者各1名で構成する。
3. 役員選考委員会は、毎年、通常総会前の適宜な時期に開催し、理事会の諮問に応じて、次のことを決定する。
 - (1) 次年度県連理事会の必要とする理事の総定員
 - (2) 各加盟団体から推薦する理事候補の員数及び候補者
 - (3) 全体枠で理事会が推薦する理事候補の推薦
 - (4) 会長以下の次期役員の選考
4. 各加盟団体は、その所属する会員数に応じて、次の基準で理事候補を推薦する。
 - (1) 会員数15名未満の加盟団体からは1名以上
 - (2) 15名以上30名未満の加盟団体からは2名以上
 - (3) 30名以上の加盟団体からは3名以上

(顧問)

第8条の3 理事会の議により、加盟団体構成員の中から、顧問を委嘱し、本連盟の活動への助言・支援を受けることができる。

第5章 財政

第9条 本連盟の財政は、加盟費、連盟費その他の収入でまかなう。

(会計年度)

第10条 本連盟の会計年度は、毎年2月1日から翌年1月末日までとし、会計報告は定期総会の都度行い、総会の承認を受ける。

(特別会計)

第10条の2 本連盟の会計には一般会計の他、次の特別会計を設ける。

(1) 県連遭難対策特別会計

- ① この特別会計の設置目的は、次の通りとする。
 - 1) 初動捜索費等の加盟団体への貸付のための遭難時緊急支援基金への拠出
 - 2) 救助隊特別会計で賄えない装備費用及びその他必要な費用を支出
- ② この特別会計の原資は、以下のもとする。
 - 1) 過年度決算の余剰金からの積立金

2) 本特別会計で不足する場合に限って、一般会計又は他の特別会計からの繰り入れ

3) 全国連盟第一種基金からの借入金

4) 全国連盟の遭対基金加入促進還元金

5) 寄付金等その他の収入

③ 遭難時緊急支援基金の詳細(貸付規定等の整備を含む)は、別途定める。

(2) 財政調整特別会計

① 一般会計・他の特別会計の収支不足、事業活動資金の一時的な充当、一般会計の運転資金需要等に支出する。

② 財政調整特別会計への繰り入れは、毎年度単年度決算の余剰金から繰り入れ

(3) 特別支出準備特別会計

① 記念事業の準備資金(積み増しが必要になった場合は一般会計から繰り入れ)

② 多額の臨時支出への準備金

(4) 救助隊特別会計

① 救助隊ベルクバハトの日常の活動費用として、理事会の決定した額を、年度当初に渡し切りで交付する。

② 余剰金は、次年度繰越金として救助隊特別会計に計上する

③ 救助隊特別会計で賄えない臨時的な多額の支出は、県連遭難対策特別会計による。

(加盟費・連盟費)

第11条 本連盟の加盟費は加盟団体毎に 1,000 円とし、連盟費は団体毎に年間一律分担金は 1 団体 4,000 円、比例分担金は構成員 1 人 1 ヶ月 380 円(全国連盟分 130 円、県連分 250 円)とする。但し、100 名を超える加盟団体については、100 人超えの部分は 1 人 1 ヶ月 330 円(全国連盟分 130 円、県連分 200 円)とする。

2. 総会に付議することが困難である場合は、前項の連盟費を引き下げの場合、及び全国連盟分の変更を行う場合に限って、理事会の特別決議(理事の3分の2以上の同意)により、改訂することができる。

3. 負担方法は年2回とし、第一回目は4月末日、2回目は10月末日とする。比例分担金の基礎人数は次の通りとし、各期日に各々6ヶ月分を負担する、なお、分担金は総会前年11月末の基本調査報告人数にて決定する。

(1) 比例分担金のうち全国連盟の個人加盟金に相当する部分

---総会の前年11月末の基本調査報告人数

(2) 比例分担金のうち全国連盟の個人加盟費を除いた部分

----第一回目(4月末)総会前年の11月末の基本調査報告人数

----第二回目(10月末)5月末人数

第6章 遭 難 対 策

第12条 本連盟の事故対策は、別に定める「石川県勤労者山岳連盟遭難対策規程」に基づいて行う

第13条 納入された加盟費、連盟費は今連盟を脱退しても返還しない

第14条 理事会は、この規約に定められていない問題については、趣意書、規約の精神に基づいて処理する事ができる

第15条 この規約の改廃は、総会出席者の3分の2以上の決議によらなければならない。

第16条 この規約は1971年5月16日より実施する。

[附 則]

1. 改正 1972年5月21日 1975年6月2日 1976年3月7日 1977年3月3日
1985年3月10日 1994年3月6日 1996年3月6日 1998年3月1日
2000年3月5日 -----第7条(機関)、第8条(役員)
2002年7月7日 -----第1条(名称・事務所、第2条(加盟組織)、第3条(目的)
臨時総会 第4条(活動)、第7条(機関)、第8条の2(役員選考)
第10条の2(特別会計)、第11条(加盟費・連盟費)
2012年2月26日 -----第1条(名称・事務所)、第7条(総会)、第8条(役員)
第8条の2(役員選考)、第8条の3(顧問)
第10条の2(特別会計)
2016年3月6日 ---- 第1条の2(名称・事務所)
第10条の2(4)の②救助隊特別会計(余剰金)
(2020年3月1日の総会は新型コロナ禍で中止・代替として書面決議とした)
2020年10月14日 ---- 第8条の4(3)(理事候補推薦数)
第8条の4(4)(削除)

以上

石川県勤労者山岳連盟 遭難対策規定 (2022/3/6 改定)

第1章 総則

第1条 この規定は、遭難対策について必要な事項を定め、遭難を防止し、安全登山の普及と向上、遭難者の救助を目的として、山行規定、救助隊規定を定める。

第2条 目的達成のため、次の活動を行う

- (1) 遭難防止の為の教育活動
- (2) 遭難者の救助活動、搬出活動
- (3) 救助及び搬出の技術普及と向上の為の訓練と研究活動
- (4) 山行計画書の検討と、必要な勧告・指導活動
- (5) その他必要な活動

第2章 山行規定

第3条 石川県勤労者山岳連盟の加盟山岳会の会員は、山行(スキーツアーを含む)を行うときは、所属会に計画書を提出しなければならない。

第4条 前項の計画書は、所属会の定めに従って提出し、所属会の留守宅本部、自宅にも提出するものとする。また、登山届を関係部門に提出する。

第5条 各会の合宿、海外登山等の大きな山行については、あらかじめ救助隊(救助隊監督)に計画書を提出するものとする。

第6条 提出された計画書が次の事項を満たしていない場合は、計画について、各会の責任で勧告・指導を行なう。ただし、春・夏・冬の一定時期の合宿山行については、県連合宿検討会として指導・助言をも行う。

第7条 提出された計画書が次の事項を満たしていない場合は、計画書について勧告・指導を行う。

- (1) 会山行、個人山行の区別
- (2) 団体名
- (3) 山行責任者(リーダー)
- (4) 日程
- (5) 目的山域とルート
- (6) メンバー(任務・氏名・年齢・血液型・住所・電話番号・緊急連絡先・労山新特別基金
または山岳保険の加入有無と加入内容)
- (7) 留守宅本部
- (8) 装備リスト
- (9) 食料リストと予備食の有無
- (10) 無線機の有無と種類及び周波数(アマチュア無線の場合はコールサイン追加)及び携帯電話の番号

第8条 計画に変更がある場合は、改めて計画書を提出しなければならない。

第9条 下山後はすみやかに留守宅本部に連絡しなければならない。

第10条 山行責任者(リーダー)は、会及び救助隊リーダー会より計画について勧告・指導を受けた場合、これを尊重しなければならない。

第11条 留守宅本部は、会員の遭難事故報告を受けた場合、すみやかに救助隊及び所属会に報告しなければならない。又、下山予定を半日以上過ぎても下山報告がなく遭難の可能性が考えられる場合も同じとする。

第3章 救助隊規定

第12条 石川県勤労者山岳連盟に救助隊をもうけ、事務所を県連事務所内に置く

第13条 石川県勤労者山岳連盟山岳救助隊を「石川ベルクバハト」と呼ぶ

第14条 救助隊は、次の役員及びメンバーで構成する・

- (1) 監督 1名
- (2) 隊長 1名
- (3) 副隊長 1名
- (4) 隊員 若干名
- (5) 事務局員

第15条 救助隊にリーダー会を置く。リーダー会は監督、隊長、副隊長、及び隊員の中から隊長に氏名された者若干名で構成され、救助隊の活動全般について決定する。

第16条 救助隊の役員及び隊員の選任は、次の通りとする

- (1) 監督は、県連会長又は県連副会長があたる。(副会長を追記)
- (2) 隊長・副隊長は、県連総会後のできる限り早い県連理事会で任命する。
- (3) 隊員は、所属山岳会の推薦を受けた人で構成する。

第17条 隊員は、次のような権利と義務を有する。

- (1) 県連盟の主催する行事に優先される。
- (2) 年2回救助訓練(無積雪期、積雪期)を行う。隊員は、可能な限り参加しなければならない。
- (3) 隊員は、最低でも5口以上の労山新特別基金に加入、もしくはそれと同等以上の山岳保険に加入するものとする。また、特に危険の予想される出動に際しては、隊員の労山特別基金の増額、ないし他の保険への加入を必ず行うものとする。この祭の費用の負担は、県連が行う。
- (4) 救助活動、遭難防止活動の積極的推進を行なう
- (5) 個人的に救助活動を行なう場合にも、原則として隊長の許可を受ける。
- (6) 登山中、個人的に救助活動を行なった場合は、下山後すみやかに報告するものとする。

第18条 救助隊は、原則として、下記の場合、監督又は隊長の要請に基づいて出動する。

- (1) 連盟員の遭難が確認された場合
- (2) 各代表者又は家族の要請があった場合
- (3) その他、リーダー会は必要と認めた場合
- (4) 県連会員以外の遭難について、救助の要望があった場合、県連会長の判断によって、救助活動への参加ができる。ただし、事後の県連理事会の承認を必要とする。

第19条 隊員は、出動要請があった場合、すみやかに出動の可否を明らかにし、救助隊本部と連絡をとって行動しなければならない。

第20条 救助隊長は、救助活動における責任者として現地で指揮をとる。

第21条 救助要請発生し監督や隊長と連絡が取れない場合は、行動可能な隊員でその間代行する。

第22条 出動に際しては留守宅本部の指導者は、リーダー会が任命する。

第4章 財政

第23条 救助隊の教育・訓練・救助装備の経費は、県連盟の財政から支出する。

第24条 救助隊が出動した祭の必要経費(交通費・宿泊費・食費・機材費の他・出動の際加入する山岳遭難対策保険料等、17条3号に定める負担を含む)は、すべて依頼者(会、または家族)及び遭難者が支払うものとする。

第25条 特に高額費用を要する捜索・救助(航空機の使用等)については、依頼者(家族)と相談

のうえ決定する。

第5章 附 則

第 26 条 救助隊の監督・隊長には、訓練・救助活動を行なうに当たって必要なものは、理事会の承認により、適宜支給または貸与する。但し、緊急の場合は、会長の判断、理事会の事後承認により、支給・貸与できる。

第 27 条 救助隊の監督・隊員の救助活動に伴う保険適用など、安全確保・補償問題については、県連理事会は必要な対策を適宜定める。

第 28 条 この規定の改廃は、県連理事会が行う。

第 29 条 この規定は、1976 年 11 月 28 日より実施する。

[附 則]

- | | | | |
|-------|-----------------|--------|--|
| 1. 改正 | 1985 年 6 月 12 日 | 改正 | |
| | 2002 年 7 月 7 日 | 臨時総会改正 | |
| | 2016 年 3 月 6 日 | 改正 | 第2章 第3条、第4条
第7条 (6)(7)
第11条
第16条(3)
第17条(3)(6)
第18条(4)
第21条、第22条 |
| | 2022年3月6日 | 改正 | 第2章 第3条、第4条 |

以上

県連事務所複合機 brother MFC-J6983CDW(2022年度導入) 簡易マニュアル

印刷方法

PCから印刷

1. ドライバーをインストール
Brother のHPから、[MFC-J6983CDW] 用のプリンタードライバー（フルパッケージ）をインストールする。
2. 印刷する
PCの[印刷]から、プリンターを「Brother MFC-J6983CDW プリンター」を選択して印刷する。

スマホから印刷

1. iPhoneから印刷
[App Store] から [Brother iPrint&Scan] をインストールする。
2. Androidから印刷
[Google Playストア] から [Brother iPrint&Scan] をインストールする。
3. iPhone、Androidが、WI-FIに接続した状態であることを確認する。
アプリを起動し、[プリント]を押して印刷する。

スキャナ方法

スキャナデータをPCに取り込む

1. PCがWI-FIネットワークに接続している状態で、複合機本体パネルの[スキャナ]を押す。
2. 複合機にスキャンしたいモノを置く。
3. [スキャンした画像をPCに保存します]を選択。
4. [イメージ]を選択し、[スタート]を押す。

※画像ファイル形式、読み取りサイズを変更したい時は、設定を変更する。

スキャナデータをスマホに取り込む

1. iPhone、Androidが、WI-FIに接続した状態であることを確認する。
2. 複合機にスキャンしたいモノを置く。
3. アプリを起動し、[スキャン]を押してスキャンする。

※画像ファイル形式、読み取りサイズを変更したい時は、設定を変更する。

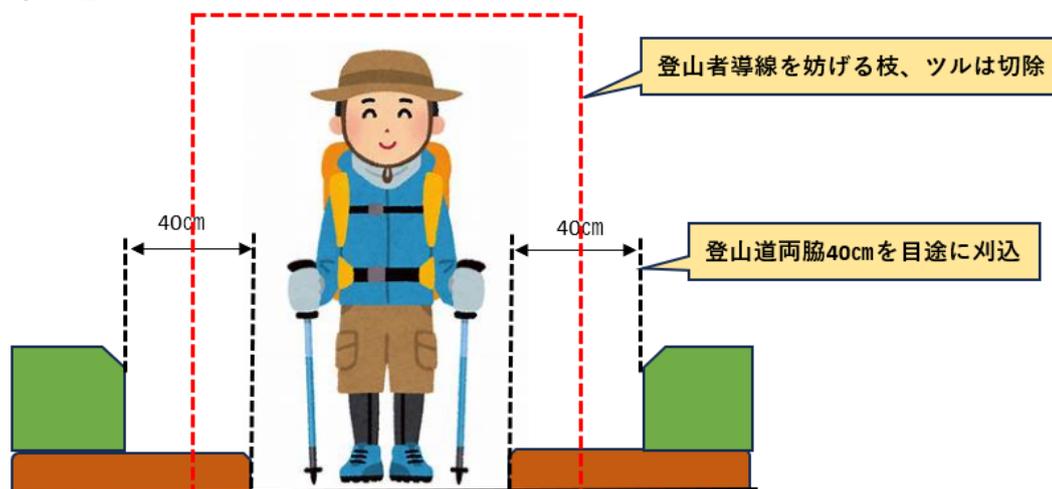
IWAF 共有ドライブ (Google ドライブ) 使用手順書



- ① 県連HPトップページ右上「リンク」にカーソルを合わせてプルダウンを表示させる
- ② IWAFのプルダウンをクリック
- ③ パスワード [174kenren#] を入力
- ④ Googleドライブが開くので年度毎のフォルダに保管してあるデータを閲覧可能

チブリ登山道維持管理業務について

①下草刈込



- ・上記を基本方針とする
- ・ササ、灌木は登山道両脇40cmを目途刈込は必須、刈込後にイネ科が繁茂するのはやむを得ない
- ・稜線のお花畑は登山道脇を早い段階で刈込
- ・下部のニリンソウ、サンカヨウが登山道脇に多い箇所は今後もより良い方法を模索する

②登山道整備

- ・全般に、近自然工法の趣旨に合致しており問題なし
- ・作業した内容に関して都度、石川県白山自然保護センター担当者へ連絡する事
- ・実施方法に関して相談がある場合も自然保護センター担当者へ都度相談する事
- ・ぬかるみ箇所の補修では環境配慮素材の土嚢の活用も検討する事
- ・水路導線確保の作業では多少の水路河床の掘り下げは許容できる
- ・下の水場のロープは撤去して導線を明確にする様に石を並べる工夫をする事

③上空かかり木の箇所

- ・下の水場手前のかかり木は危険なので注意喚起の看板を付ける
- ・新規建造ではなく、立木への取付けと登山道口のマット看板へ取り付けで実施する（9/23実施済）



④避難小屋

- ・避難小屋外装は南側（別山谷側）が薄くなっているのを、来年度にこの面のみの塗装を実施する



※5/13撮影

- ・便槽は2年持たないので、次年度より毎年交換する
- ・道標の看板は今年度交換
- ・利用者把握の方法を行政側が検討する

⑤その他

- ・昭文社の「山と高原地図」は毎年最新に更新しており、1月頃に聞き取りがあるので変更点あれば伝えます
 - ◎上の水場は温水期は使えない
 - ◎避難小屋手前の池は煮沸飲料可となっていますが、とても飲める水ではない

MEMO_1

石川県勤労者山岳連盟 (IWAF)

〒921-8817 石川県野々市市横宮町 8-5 つばき通り百番ビル 206 号室

[アドレス info@iwaf.jp](mailto:info@iwaf.jp)

<http://iwaf.jp>